

経営比較分析表（令和5年度決算）

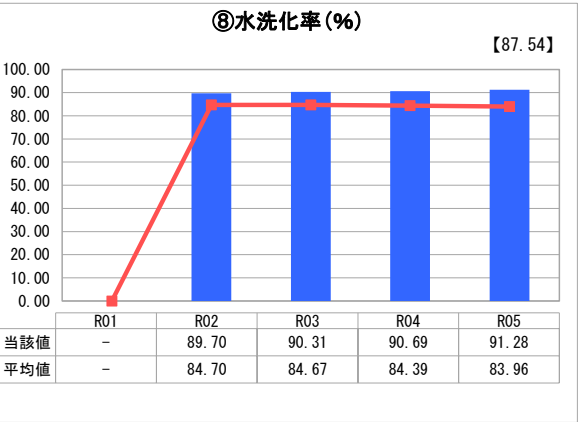
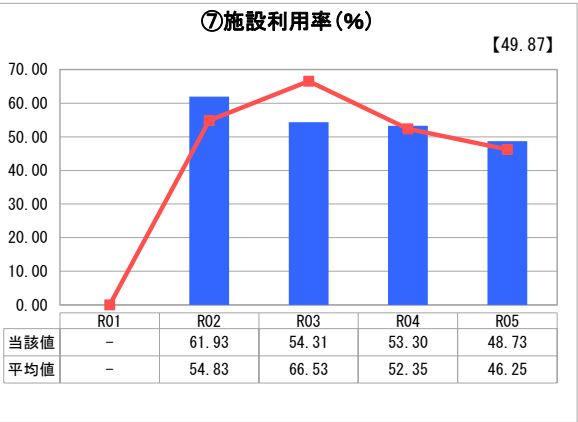
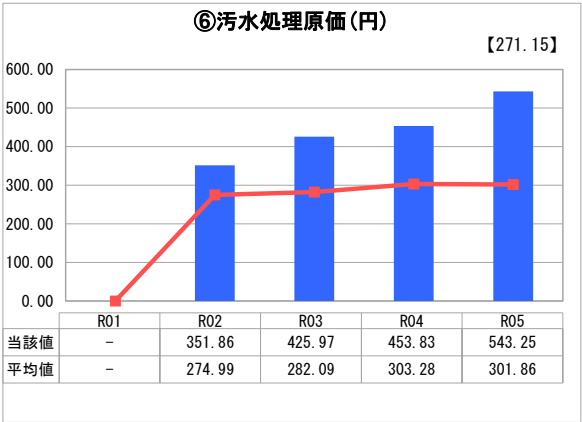
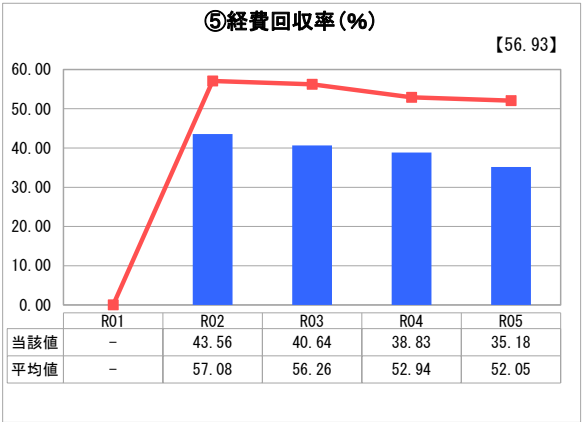
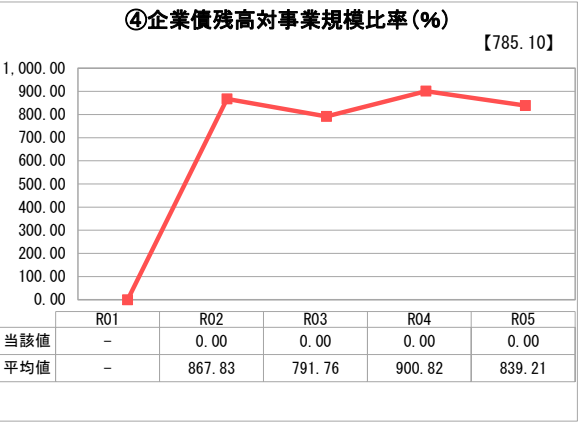
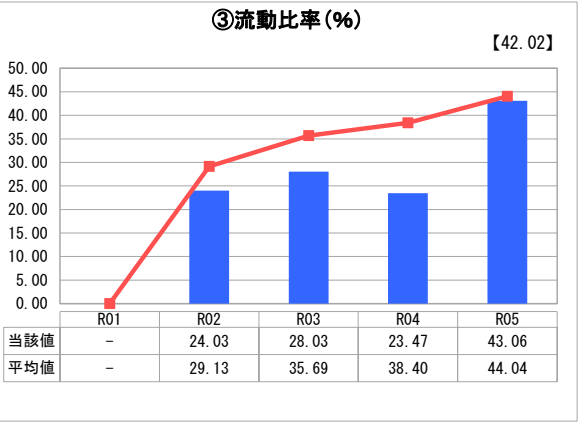
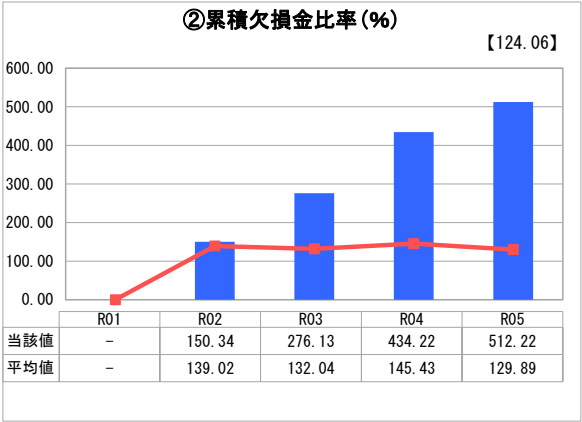
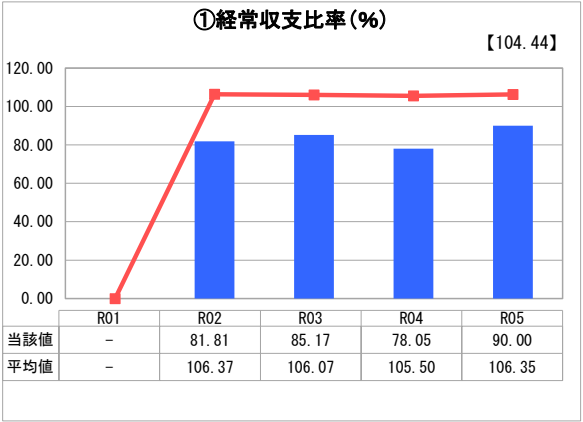
和歌山県 紀の川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	69.07	0.66	100.00	3,980

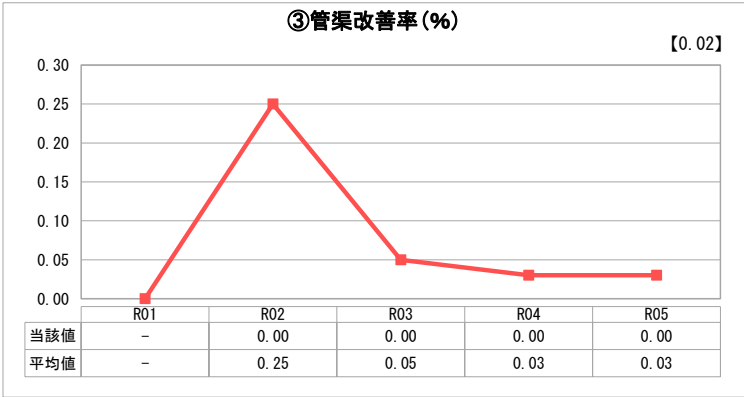
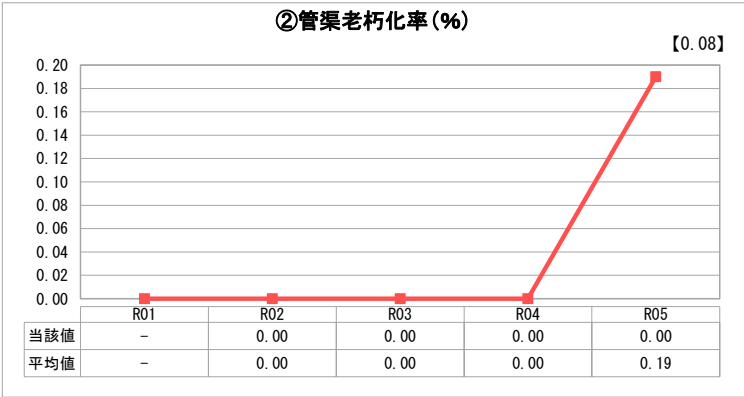
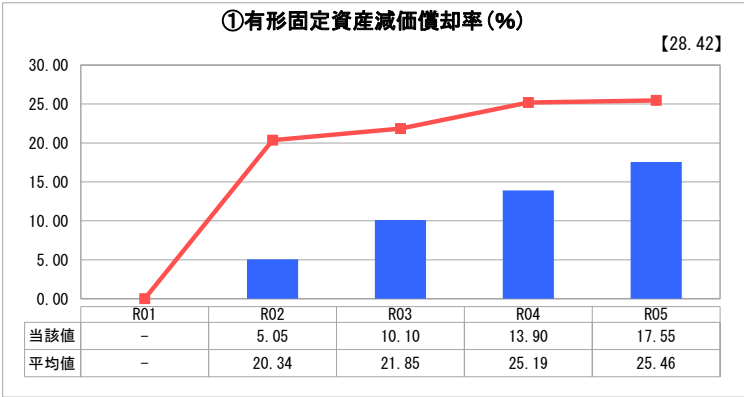
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,578	228.21	261.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
390	0.17	2,294.12

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
人口減少と高齢化により使用料が減少傾向にあり、一般会計からの繰入に依存しているため低い水準となっています。
- ② 累積欠損金比率
人口減少と高齢化により使用料が減少傾向にあり、施設にかかる経常的経費を賄えていないため、毎年欠損金が生じ、高い水準となっています。
- ③ 流動比率
一般会計からの繰入に依存しながらの事業運営となっているため、低い水準となっています。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
事業運営にかかる資金不足額及び企業債残高は、一般会計が負担していくこととなっています。
- ⑤ 経費回収率
施設維持管理にかかる経常的経費を、使用料で賄えていない状況となっています。
- ⑥ 汚水処理原価
人口減少と高齢化により有収水量が減少しており、また、施設老朽化により維持管理費が増加傾向にあるため、汚水処理原価が高い水準となっています。
- ⑦ 施設利用率
人口減少に伴う利用率の減少より、低い水準となっています。
- ⑧ 水洗化率
事業整備が完了しているため高い水準となっています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
集落排水施設全体としては、低い水準となっています。
- 西山・善田の2つの処理区のうち、西山処理区については、供用開始から20年以上が経過し、施設更新の時期を迎えています。令和8年度に公共下水道への接続を予定しており、施設の廃止等により事業の縮小を図ります。

全体総括

人口減少と高齢化が今後も加速することが予想される中、一般会計からの繰入に依存する厳しい事業運営となっています。

今後、西山処理区を公共下水道へ接続し、事業の縮小を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。